

3月の広報カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ご注意ください</p> <p>令和2年4月1日から 廃棄プラスチック を出す日が変わります</p> <p>第4土曜日 ↓ 第2水曜日</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ご注意ください</p> <p>土曜日の 窓口業務は 3月末で終了 します。</p> </div>	

【表紙】1月19日(日)に行われた、流鎚馬における四方固め。この矢を手に入れたらその家族が1年間幸福になるといわれています。

【裏表紙】流鎚馬当日のクライマックス、夕まとう。これぞ流鎚馬です。

ごあんない

2 季節のたより168「カタクリ」/ もくじ / 3月の広報カレンダー

特集

4 西平・萩日吉神社の 流鎚馬

8 高齢者サロン 「集いの場」

まちよりのたより

12 狂犬病予防注射を実施 / 活き生き活動センターだより

14 「和の祭典」[カラオケ祭]の出演者募集 / ときめき塾ボランティア講師募集

16 国民年金保険料免除・納付猶予制度 / 会員証の更新を / もしものスポーツ安全保険 / 春の全国火災予防運動

18 国税専門官採用試験を実施

グラフときがわ

19 ときがわ手話サークル表彰 / 四季彩館「災害時の入浴機会の提供」基準制定

スポーツときがわ No.55

20 注目のアスリートたち / 第12回熱年オリンピック / 硬式テニス教室参加者募集 / データファイル (10~12月)

Information 暮らしの情報

22 こそだて / ほけん / そうだん

24 そうだん / ぼうはん / かんきょう / としょかん

26 情報のページ

28 城西大学通信 第5回 / 1人1日50gのごみの減量を! -vol.22- / 町民文芸俳句

人口と世帯 (2月1日現在)
総人口 11,067人 (-2人) ※()は前月比
1月の動き 出生 10人 死亡 16人
転入等 26人 転出等 22人
男 5,624人 (+2人) 女 5,443人 (-4人)
世帯数 4,738世帯 (-3世帯)
過去のデータはHPで見ることができます。

広報ときがわ【第170号】 令和2年2月28日発行
編集・発行 ときがわ町総務課
〒355-0395 埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川2490番地
TEL 0493-65-1521(代表) FAX 0493-65-3631
ホームページアドレス <http://www.town.tokigawa.lg.jp>
メールアドレス info@town.tokigawa.lg.jp

防災行政無線テレホンサービス(無料) ☎080-0800-8432

ときがわ町の位置
東経 139度
北緯 36度
海拔 64m
面積 55.90 平方m

季節のたより168
山地の樹林で、
恥ずかしそうに首をかしげたような形で開花する
カタクリ



【カタクリ】
裏表紙にカラー写真を掲載しています

月日の経つのは早いもので、『令和2年』の年明けから数えてもう3か月が過ぎようとしています。この頃、私は季節の初めになると暇さえあれば(出来るだけ時間を作って)都幾川沿いや、町を取り巻く山地や、峠道などを散策しながら改めて野草と触れ合うのを楽しみにしています。

数年前まではその季節にあつた野草の芽吹きや、早咲きの開花を目にすることができたように思うのですが、最近では異常とも思えるほどに、そうした雰囲気を感じる事ができなくなってきたように思います。この時期になると、毎年決まったよう

に、この町に住みついた当時に初めて出会った野草のことを思い出しますが、今月はその中から特に強く印象に残っている植物の一つ「カタクリ」について書いてみたいと思います。

「カタクリ」は「ゆり」科のわが国固有ともいえる植物で、北海道から本州の山地の樹下に自生しているものです。形状は草丈20cm程で、地下の鱗茎(球根)から、短い茎を伸ばして短い葉柄をもった長さ縦6~9cmの尖った、長卵形で淡紫色の斑紋のある一対の葉を伸ばし、3月末~4月に葉の付け根から1本の花茎を伸ばして、茎頂に径4~5cmの淡紅紫色、5花冠(花弁)の花を一輪下向きに開花させます。

名前の「カタクリ」は、「カタコユリ」の略と言われ、「カタコ」とは「傾いた(小さい)籠」のことを言い、花が完全に開いた時の形が小さな籠を斜めにしたように見えるところから名づけられたといわれています。この名前を植物図鑑では「片栗」と

も書いていますが、何故こう書くのか改めて調べてみると、一説には、葉が「クリ」の葉に似ているからと言われています(こじつけにも思えるのですが)。話のついでに、「カタクリ」の歴史についても触れてみたいと思います。我が国の太古の時代に編纂された『万葉集』の中で、「大伴家持」という歌人が、「堅香子の花」として詠み込んだ和歌を載せていますが、これが「カタクリ」の古名であると言われています。既に万葉の時代から多くの人たちに愛されていたと考えることが出来ると思います。

生活との関わりは、昔から「カタクリ」の地下茎(球根)からデンプンを探り片栗粉として利用したり、漢方では胃腸などの滋養に効果があると言われて利用されたり、各種の錠剤を作る時の原料にも用いられていたということです。

余談になりますが、現在の片栗粉は「ジャガイモ」や「サツマイモ」のデンプンから作られているということです。

異常気象からやっとな解放されたのか、次第に春らしさが戻り、多くの野草が争って開花を始めているようです。さて今年の野草の世界はどんな展開を見せてくれるのでしょうか。期待を裏切らないような春の風景を展開してほしいものです。

写真・文 小林一公さん(本郷地内)